

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名【新】桜アドバイザー活用推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 緑化推進係 電話番号：058-272-8255

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,420 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,420	0	0	0	0	0	0	0	1,420
決定額	1,420	700	0	0	0	0	0	0	720

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

本県には、天然記念物に指定されている樹木を始めとした名木、巨樹古木等が数多生育しており、これらの貴重な樹木の保護・保存体制の強化を図るため、岐阜県桜アドバイザーを活用して技術者を対象とした勉強会の開催、林木育種場の苗木や県内の貴重な樹木の高度な技術指導を行う。

(2) 事業内容

①勉強会の開催

グリーンドクター等技術者を対象とした勉強会の開催

②林木育種場及び採種園における苗木指導

名桜樹の手入れ、施肥、病害虫等の苗木育成に関する指導

③県内の貴重樹木に関する技術指導

グリーンドクターでは対応困難な高度な相談に応じた技術指導

(3) 県負担・補助率の考え方

民間で同等の資格を創設することは困難なため、県主体で実施、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,100	勉強会、技術指導講師謝金
旅費	287	講師費用弁償、業務旅費
役務費	4	電話代、送料
使用料	29	会議室使用料
合計	1,420	

決定額の考え方

財源については、デジタル田園都市国家構想交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

1 森林づくりの推進

(1) 災害に強い循環型の森林づくり

(ウ) 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援

(d) 森林づくりの多様な担い手の育成と支援

(2) 国・他県の状況

県で委嘱した桜アドバイザーの活用は他県にはない。

(3) 後年度の財政負担

今後も引き続き認定していくため、同額程度の財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県内に生息する貴重樹木の保護・保存の体制強化を図るため、専門家による勉強会や高度な技術指導によりグリーンドクターの技術の研鑽を図る。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

樹木に対する一定水準の知識・技術を身につけた専門家を想定し、貴重樹木の保護・保存の体制強化及び意識の高揚を図る。

樹木に関する相談窓口として、緑化木の選定・管理、病虫害に対する対応、貴重樹木の保護・管理等に技術指導等の相談、現地診断、指導を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

県で委嘱した専門家の活用に必要な経費であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	
	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	本県には、天然記念物をはじめ、名木等が多数生育しており、これらを次世代に継承していくため、専門家の養成は必要である。。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 貴重樹木の保護・保存の体制強化を図ることが必要である。このため、専門家による勉強会や高度な技術指導によりグリーンドクターの技術の研鑽を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	